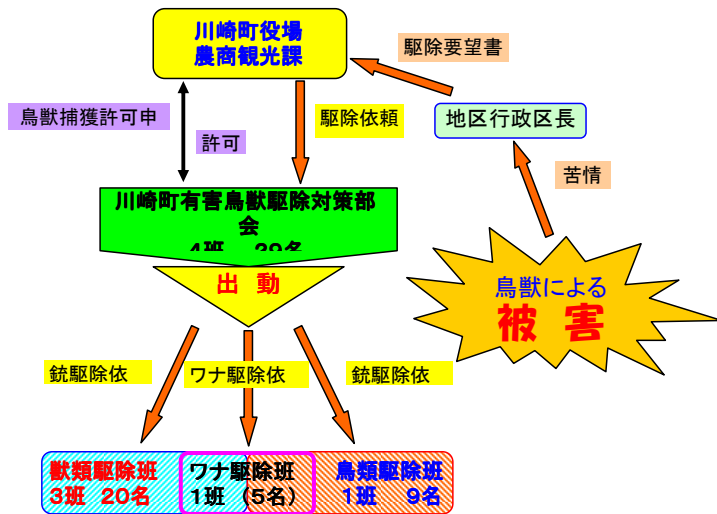


# 鳥獣被害対策フロー

## 現在の有害駆除対策状況

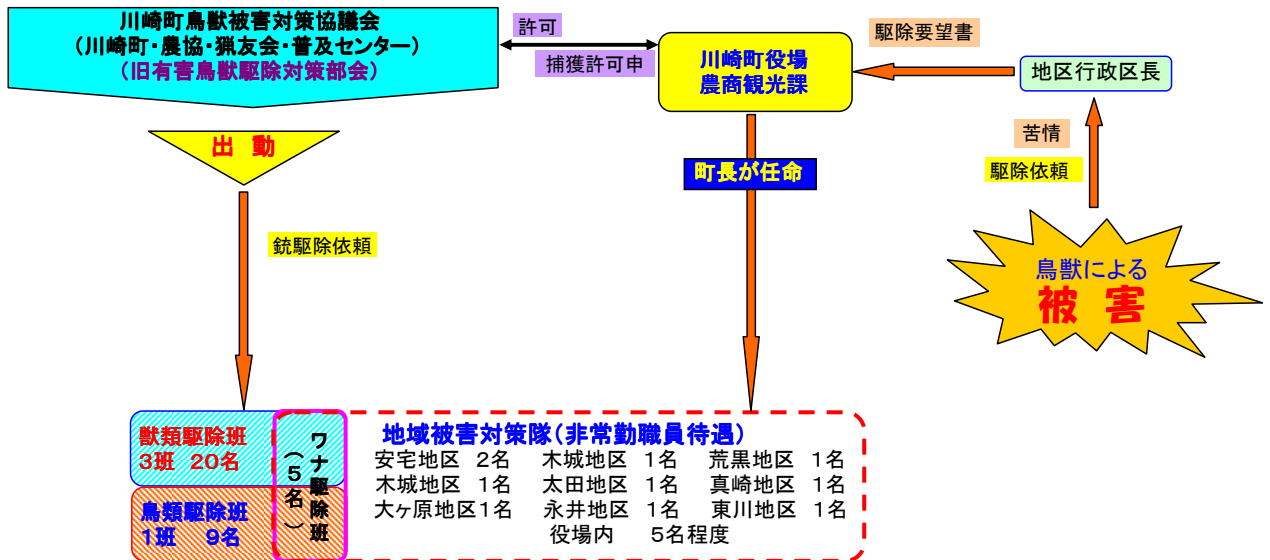


### 問題点

※ 銃駆除については、高齢化が進み今後の駆除のあり方を考えなければならないが、一番の問題点は、銃免許の取得が難しくなり、新規狩猟登録者が減少しているため、現状維持するのも難しくなっている。

※ ワナ駆除は、市街地及び鳥獣保護区の被害の多発に伴い、設置要望が増加しているが、ワナ駆除員5名のほとんどが、仕事のため日中の対処が出来ない。また、移動・設置に4～5名の人員を要し、毎日の見回り、えさ入れ作業が、駆除員の大きな負担になっている。

## 鳥獣被害防止計画策定後



### 構想

※ 各地区に箱ワナ駆除隊員を置き、区長からの駆除要望に応じて地区隊員と協議し、地区の被害は、地区内で対処できるようにする。

※ 箱ワナ設置数を50基程度を目標に各地区に配分する。

### 問題点

※ 特別措置法なので、平成22年に時限切れとなる。その後の予算措置が出来なければ、現在の状態に戻る可能性が大である。